

新年あけましておめでとうございませう
 本年もよろしくお願ひ申し上げませう

令和6年は辰年！
 そのももの十二支では「甲辰」（きのえたつ）の年となります。

「甲」（きのえ）には、始まり・芽吹き・成長という意味があり、且つ、物事に耐え忍んでいるという意味も持っています。
 また「辰」には、振るう・整うという意味がありますので、物事が整い勢力を振るう事を表します。



長かった約3年。新型コロナウイルス感染症第5類に指定され、ほぼ収束宣言がなされました。

と同時にすべてが動き出し、国内においては、*円安の更なる進行と諸物価の高騰

*海外からの観光客の増加と観光地の混乱となり、他方海外では、*ロシア・ウクライナ

戦争の混迷化 *イスラエル・パレスチナの武力衝突勃発

*北朝鮮のミサイル、中国からの海洋侵攻という軍事的挑発



など相変わらず不穏な様相が続き、元々心配されていた地球温暖化・異常気象問題も深刻化を増しています。

動き始めています。一昨年（壬寅）は「芽生え」、昨年の「癸卯」（みずのとう）は「育つ努力」の年でありましたが、今年の「甲辰」（きのえたつ）ではそれらが整い、私たちは力強く奮い立ち、まさに「革新の歩み」の第一歩を踏み出しています。



では、何を指して進むのが良いのでしょうか？ 私見ですが、歴史の流れを見ればその先にヒントがあると考えます。

大まかに言うと日本国は、江戸時代までは「中国」を手本とし、明治維新と共に「ヨーロッパ」に

見習い、太平洋戦争敗戦で「アメリカ」を「主」として歩んできた歴史があります。

しかし今、「グローバルスタンダード時代」を迎え師匠とすべき国家は見当たらなくなっています。まさに「日本独自の国家造り」をしなければならぬ時なのです。

そこで私は、喫緊の課題である国内諸問題、
 ・ 相対的貧困
 ・ 給与水準の低下
 ・ 子育ての困難化
 ・ 年金世帯の生活苦
 ・ 高齢者の孤立
 など「安全・安心が得られない現状」の打開を提案します。

言い換えれば「日本に生まれて良かった」と思える国造りをしようという事になります。

国土保全の為の公共事業は別として、オリンピックや万博、カジノを推進する事は当面保留すべきです。これらの予算を福祉予算に回すわけですが、「安全・安心」国家への方向転換には私達も

相応の負担を覚悟しなければなりません。それでも「日本に生まれて良かった」国を目指したいと思えます。「甲辰」の本年「革新の歩み」の第一歩を踏み出しましょう。

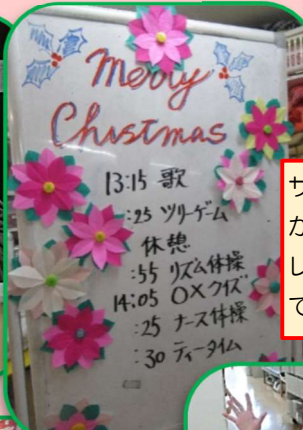
葵クリスマス会のコマ

♪クリスマスの歌で雰囲気満点！

乾杯♪



美味しいケーキで大満足！



サンタクロースがクリスマスプレゼントを配ってくれました！



ツリーゲーム



紙コップを棒で隣の人にどんどん渡していきます。

端に座った方が紙コップを重ねていきます。



見事ツリーの完成！



東西南北

昨年は物価高に苦しんだ。なかなか暮らしは上向かない。貧乏神の親玉が日本のどこかに住んでいるに違いない。どう対処したものだろうか。鴨長明の「発心集」に次の説話がある。

近江国の三井寺に貧しい僧がいた。自身の境遇を嘆き、よその地へ引越すことにしたところ、夢に、青ざめ瘦せこけた若者が現れた。僧と同じく旅支度している。名を尋ねると「貧報の冠者」という。なんと長年そばにいた貧乏神であった。

目覚めた僧は、前世からの運命だと諦めるのも一つであると悟った。

一方、無住という僧が編んだ説話集「沙石集」には、大晦日に桃の枝で家から貧乏神を叩き出した話がある。桃には呪力あり、貧乏神を追い払えるようだ。

ただ、こちらの態度によつては、貧乏神は「神対応」をしてくれることもある。井原西鶴の「日本永代蔵」には、貧しい染物屋の夫婦が、元日から七日まで貧乏神を祀(まつ)つたところ、裕福になった話がある。夫婦は藁人形に質素な帷子(かたびら)を着せ頭巾をかぶせ貧乏神

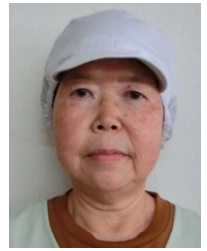
とし、松飾りの中に置いて精いつばいもてなしたそうだ。

諦めるか、追い払うか、祀るか。昨年の岸田文雄首相の仕事始めは伊勢神宮参拝だったようだが、今年は庶民のためを思つて、貧乏神を祀るにはいかがだろうか。ぜひ藁人形や帷子、松飾りなどを用意いただきたい。



K・ドラゴン

厨房より



葵で調理の仕事を始めて、早いもので5年が経ちました。当初はこんなに続くとはいっていませんでしたが、皆様の「美味しかったよ」の言葉にやりがいを感じてここまで続ける事が出来ました。そして、これからも葵での食事の時間が楽しみです。

堀江美恵子



に思っていただけのように、味付けは勿論、季節感、見た目も気を配った調理を心がけて、安全で美味しい食事を提供し、皆様の心と体の健康づくりに貢献できる様に頑張つて行きたいと思つています。

【今月のメニューより】 鶏肉とにらの炒め物 ・車ぶの煮物 ・なめこのさつぱり和え



今年も高橋章さんに看板を描いて頂きました。11月に制作を依頼したので、時期的に年末の風物詩である西の市をイメージして描き上げて下さいました。葵のホームページでは過去のおおい通信も掲載しております。是非過去の作品もご覧下さい。

人気温泉地「蔵王温泉」

◆有名温泉地めぐり◆

蔵王温泉は、宮城県と山形県の県境に位置する温泉。東北屈指の規模と歴史を誇り、泉質も似ていることから、「東北の草津」とも称される。

蔵王温泉の魅力はその湯にある。蔵王の湯は、硫酸泉を100%使用したことと生まれた硫黄の香りと、木のぬくもりに包まれている。

また、空気に触れたことで生まれる乳白色のお湯は、きり傷や火傷に効能があるのはもちろんのこと、疲労回復、健康促進、さらには美肌をもたらす効用もあるとされている。



談話室

地域の歴史でも解くお雑煮の差

明けましておめでとうございます。皆様には健やかに越年の事を心よりお慶び申し上げます。「あおい通信」に対するご意見(ご要望等々)ございましたら是非お聞かせ願いたく存じます。

また、作文(人生論 珍事項。文字数は任意)や詩文の寄稿も募集しております。今後、「あおい通信」のご愛読の程宜しくお願ひ申し上げます。

さて、お雑煮は地域色がかなり濃い食べ物として有名である。日本全国のお雑煮を比べてみると

東と西でお餅の形が分かれていることがわかる。東日本では角餅、西日本では丸餅が主に食べられている。その境目は、ちょうど、関ヶ原の合戦が行われた岐阜県のあたりである。

では、なぜ東西で餅の形が違うのだろうか。その理由は諸説あるが、西日本では、都の文化の影響からともともと丸餅が食べられていた。

一方、江戸を中心とした東日本では、人口が急増したために、一度にたくさん作れて運びやすい角餅が考案され、普及した、といわれている。

しかし、東日本の中でも山形県だけは丸餅が食べられていて、それは何故かという



編集長 大塚芳男

利用者さんの綴り「こーりー」



小川 孝月・水

私は福岡県福岡市出身です。

学生時代は絵画や習字が好きで放課後残って書くほどでした。結婚後も時間をみつけて書道や絵画を続けておりました。

一方、娘は卓球の先生をしており、その影響もあってか孫も小さい頃から卓



球を始めました。とても優しい子で未だに一緒に卓球をしたりしてくれま

私も娘や孫に負けないよう葵ではマシンや体操などの運動を頑張っています。また、趣味の絵手紙もとても楽しく参加させて頂いて頂いています。先日も季節外れのひまわりを題材に描きました。

今年も皆様よろしくお

願ひ致します。
